

2-11

1 実施事項名	保育所統合				2 担当課	住民生活課				
3 現状・問題点・必要性(なぜやるのか)	町には保育所が9カ所(うち1カ所は私立、1カ所は休所中)あり、少子化により定員を大幅に下回る保育所が半数を超え、一部を除き施設も老朽化が進んでいる。保護者からの保育サービスの充実の均等化を望む声も強いが、職員配置等の問題もあり実施できないでいる。									
4 対象等(なにを・だれを)	保育所									
5 実施内容(何をどのようにやるのか)	保育所整備推進委員会の答申に基づき、町内の保育所を小学校区ごとの3施設に統合する。(地域の拠点が失われるという声もあり、時期や方法などについては、地元と話し合いながら進めていく。)									
6 成果・効果(どうなるのか)	現在、1クラスに1人しか児童がいない保育所があり異年齢保育を行わざるを得ない状況にあるが、保育所統合がなされれば児童の年齢にあった保育が行える。また、職員も効率的な配置が可能となり、保育サービスの充実と併せて財政的な負担の軽減も図れる。									
7 活動指標(何をどれだけやるのか)	指標名	目標値	定義・算定式	備考	8 工程表(いつ完了するのか) 上段:計画 下段:実績					
					17年度	18年度	19年度	20年度	21年度～	
	①保育所統合について説明		自治会、保護者会への説明		4月	10月	4月	10月	4月	10月
②保育所統合		地元調整を行い、協議の整ったところから統合								
9 効果額(いくら節減できるのか)	(単位:万円)									
10 達成率(いくら達成できたのか)	(単位:%)									
	計画全体の達成率(最終年度記入)									
					100	100	100			
11 年度ごとの実施状況(どうやったのか)	17年度	目標	東、網代、蒲生保育所保護者会に説明。							
		実績	東浜、網代、蒲生保育所の保護者会(自治会関係者を含む)に説明した。蒲生保育所については18年度より休所とした。							
	18年度	目標	各保護者会、自治会へ説明する。							
		実績	東浜、網代保育所の保護者会(自治会関係者含む)に説明し、網代保育所については19年度より休所とした。東浜は19年度は開所、20年度については話し合いを継続する。							
	19年度	目標	東浜と小田の保護者会、自治会に説明する。							
		実績	東浜、小田保育所の保護者会・自治会に、少子化により入所児童が少なくなり保育所継続が困難であることを説明し、両保育所とも20年度より休所とした。岩井保育園については、東浜への送迎付通園について保護者アンケートを行ったが、地元が良いとの意見が多く、20年度も現保育園で継続して保育を行うこととなった。							
	20年度	目標	統合に向け、内部調整・検討を行う。							
		実績								
	21年度	目標								
		実績								

実施事項名	保育所統合					
指標名	ウェイト	達成段階	達成率(%)	月末	月末	20年度末
②保育所統合	100	児童数推移調査	20	%		
		アンケート結果、地元意見の分析及び検討	50	×	×	×
		内部での統合検討	100	%		
		小計		0%	0%	0%
				%		
				×	×	×
				%		
		小計		0%	0%	0%
				×	×	×
		小計		0%	0%	0%
計	100	達成率計(小数点以下四捨五入)		0%	0%	0%
実施状況及び今後の問題点 (月末)						
実施状況及び今後の問題点 (月末)						

	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体計画 (5年間)の指標	作成 統合 実施 の 資料	しへ自治 合の会 い説明・ 及保 び護 話者				施保小 育学 所校 区ご と の 統合 実 の				

1 実施事項名	消防団の再編				2 担当課	総務課			
3 現状・問題点・必要性(なぜやるのか)	岩美町消防団は、昭和29年7月9分団38部、団員数1,203名で発足し、翌年の4月には消防力強化のため2部、38名が増強され1,242名となった。その後、消防ポンプ自動車の配備や常備消防の配置により、現在は10分団45部588名の編成となっているが、部によっては新入団員の加入等がなく団員の高齢化が進んでいる分団もある。								
4 対象等(なにを・だれを)	消防団員								
5 実施内容(何をどのようにやるのか)	各分団(部)の消防団員の、年齢、就業別(町内、町外の勤務も含む)の調査。 火災時における各分団の出動範囲の検討。								
6 成果・効果(どうなるのか)	部の再編を行うことにより、消防団員の若返りと、火災、災害時においてより機動力のある消防防災活動ができる。								
7 活動指標(何をどれだけやるのか)	指標名	目標値	定義・算定式	備考	8 工程表(いつ完了するのか) 上段:計画 下段:実績				
					17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	①分団長会議	2回	現状と課題を協議し、団員数の適正化及び部の統廃合について協議	計画継続中	4月 10月	4月 10月	4月 10月	4月 10月	4月 10月
	②岩美町消防対策審議会の開催	2回	分団長会議の協議結果を受け、団員数の適正化及び部の統廃合について諮問	計画延期					
9 効果額(いくら節減できるのか)	(単位:万円)								
10 達成率(いくら達成できたのか)	(単位:%)								
	計画全体の達成率(最終年度記入)					50	40		
11 年度ごとの実施状況(どうやったのか)	17年度	目標							
		実績							
	18年度	目標	団員数の適正化、部の統廃合について検討する。						
		実績	岩美町消防団部の再編検討委員会を3回、分団長会2回開催し、各分団の現状を協議(団員の高齢化や人口減少による団員確保、分団間の人口に対する団員数の不均衡等の現状について協議)						
	19年度	目標	部の再編を行うことにより、消防団員の若返りと、火災災害時においてより実効的、効率的な消防団体制が図れるよう見直しを行う検討委員会の開催						
		実績	分団長会議を開催(1回)。部の再編については、適正な団員数となるよう引き続き分団長会議で慎重に協議をしていく。						
	20年度	目標	部の再編については、引き続き協議していく。部の再編については、適正な団員数になるように協議をしていく。						
		実績							
	21年度	目標							
		実績							

2-13

実施事項名		消防団の再編					
指標名	ウェイト	達成段階	達成率(%)	月末	月末	20年度末	
①分団長会議	100	各分団の現状と問題点の調査	20	%	×	×	
		消防団員の年齢・職業調べ	40	×			×
		火災時における各分団出動範囲の検討	60	%			
		分団長会議での検討	80				
		再編(案)作成	100				
		小計			0%	0%	
				%	×	×	
				×			
				%			
		小計			0%	0%	0%
				×	×	×	
		小計			0%	0%	0%
				×	×	×	
		小計			0%	0%	0%
計	100	達成率計(小数点以下四捨五入)		0%	0%	0%	
実施状況及び今後の問題点 (月末)							
実施状況及び今後の問題点 (月末)							

	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体計画(5年間)の指標	各分団の現状と問題点の調査	消防団員の年齢調べ	消防団員の職業調べ	火災時における出動範囲の検討	分団長会議での再編案協議	協定結果を各分団で協議	各分団の意見集約	分団長会議で最終案取りまとめ	消防対策審議会開催・諮問	部の再編

2-15

実施事項名	職員定数の適正化					
指標名	ウェイト	達成段階	達成率(%)	月末	月末	20年度末
③職員定数の見直し	90	H21年4月に13+18=131人内となるよう職員採用を行う	100	% × %	×	×
		小計		0%	0%	0%
④定員適正化計画の進捗管理	10	定員適正化計画の点検	100	% × %	×	×
		小計		0%	0%	0%
				×	×	×
小計		0%	0%	0%		
				×	×	×
小計		0%	0%	0%		
計	100	達成率計(小数点以下四捨五入)		0%	0%	0%
実施状況及び今後の問題点(月末)						
実施状況及び今後の問題点(月末)						

	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体計画(5年間)の指標	5人削減	6人削減	7人削減	8人削減	9人削減	10人削減	11人削減	12人削減	13人削減	14人削減

H17年4月:職員143人→H22年4月定員適正化計画数129人(14人減)で100%とする

H20年4月:125人

*定員適正化計画の数値は、一般行政+教育部門の職員数である。